

■池田会長あいさつ

少しずつジオパークの認知度が上がっていること
ジオパークの教育について、ジオ探求、ビジネスプランコンテストなど
今年行われる再認定現地審査について

■野辺事務局長

本日の参加会員を確認。会員 4 5 名の内委任状含め 4 1 名の参加により総会成立。

(池田会長議長着任)

■池田議長

平成 28 年度事業報告及び平成 28 年度決算見込みについて事務局説明依頼。

■野辺事務局長

平成 28 年度事業報告については総括で行う。細かい報告については資料を見ていただきたい。
(資料 1 活動状況報告)
資料 1 活動状況については資料を確認していただきたい。
また、別添「事業総括」で事業報告としたい。

1. GGN/JGN 関係運営費

JGN 再認定現地審査の説明。高評価で再認定が決定されたが、地質的な研究面での指摘、日本だけでなく世界への発信を行って欲しいと指摘があった。

姉妹提携事業についての説明

海外ジオパークとの姉妹提携事業についての指摘。香港ジオパークとの姉妹提携を進めて行くために現地視察や意見交換会を行った。また、具体的な交流事業として香港の中学校が置きを訪れて隠岐高校との交流事業を実施した。

2. 事業費

・マーケティング・アンケート調査

平成 27 年度に引き続き、平成 28 年度は岡山、広島で実施した。
隠岐を知るきっかけ作りが必要だと感じた。そのための商品造成のため、平成 28 年度の島根県事業として、広島駅発着で高速道路を使った隠岐 1 泊 2 日のツアーを 3 本実施したところ、集客状況も良く、満足度も高かった。
今後も旅行会社による商品造成に向けて調整を図っていきたい。

・ビジターセンター管理業務

ビジターセンターの機能を持つ自然館について、旅行会社等の認知度が高くなり、ツアーの最初の場所として活用されるようになってきた。

また、隠岐島民や小学生を主体として利用数が増加しており、続けて隠岐の島町との連携により展示内容の充実と英語表記を促進したい。

・人材育成事業

認知度の向上

ジオパーク学習会に伴う講師派遣、ジオパークサポーター制度、グランドデザイン構築に伴うヒアリング、英語キャンプを通して住民の認知度の向上に努めている。

2級ガイドの養成（8名）、ジオパークサポーター養成講座（30名）、ジオパーク検定（49名）など、参加者は集まっており、徐々にであるが認知度の向上につながっていると考えている。しかしながら、島前地域の実績が無いので、今後は島前地域の認知度の向上に努める必要がある。

・有償ガイド養成

有償でガイドを行っている方はいるが、推進協議会が認定するガイドはいない。そこでジオパークとして統一した案内を行うために平成 27 年度に認定ガイド制度を構築し、養成講座を行っている。平成 27 年度 28 年度の成果として 8 名の 2 級ガイドが誕生したが、まだまだ足りないため、今度もサポーター制度やジオ検定と共に開催していきたい。

また、2 級より上のマイスター制度も考えていきたい。

・情報発信事業

マップ・リーフレット作成

マップ、リーフレット、副読本について来島者からの評判は良いが、今後も無償で配布するか有償にするかの検討を行いたい。また、副読本については来年度より島内の新 4 年生全員に無償配布することとした。

・外国人向け広報活動

国内外の外国人向けの情報誌として冊子を作成（AJ）し、旅行会社や関西空港等に配布した。

・ガイドシステム

端末により自動ガイドシステムを構築した。関係者による使用実験を行ったところ好評を得たため、隠岐の島町については平成 29 年 4 月より供用開始したい。島前地区については平成 29 年度前半にポイント追加を行い、平成 29 年度中に供用開始したい。

・横断幕作成

境港、七類港をはじめ、隠岐 4 島の各港、隠岐空港にジオパークの歓迎看板を提示している。

ジオパーク空港については名前が良いと再認定審査の時に褒められた。

また、松江ー七類、境港間(フェリー高速船連絡バス)、広島ー松江間(高速バス)を結ぶバスにもジオパークの宣伝ラッピングを行っている。

今後は効果測定が出来る仕組みを構築したい。

・企画・広報宣伝事業

地域デザイン事業

隠岐4島のフェリーターミナル内に誘導サインの統一化を図った。(資料:隠岐4島港サインマニュアル)
西郷港、別府港、菱浦港については3月末に完成する予定であり、来居港については新フェリーターミナルの完成(10月)に合わせて案内看板を設置する計画である。

今回の事業によって4島のイメージ色も決定したことから、今後もジオサイト看板についてもイメージ色を統一する予定である。

・PR用映像および長編映像作成

昨年度に撮影した空撮映像などについて、現在youtubeで流しているが、今後は各フェリーターミナル、フェリー、レインボージェットや学校の事業などで活用を図りたいと計画している。

・メディア活用

新聞広告をはじめ、テレビ番組の作成、旅行雑誌への掲載など、多くの人々の目につく取り組みを行っているが、その効果検証まで至っていないので、今後は効果検証の仕組みを考えながら実施していきたい。

・島外でのPR

当初、モンベルフェアへの出展を計画していたが、具体的な旅行商品が無い中での出展は効果が薄いと考え、今年度については出展を取り止めて広島で開催された「島根ふるさとフェア」へアクアスとの共同出展を行った。

・隠岐ジオパークフェスタ

第3回目のジオパークフェスタをくにびきメッセで開催した。

今回は1/3会場から2/3会場へ変更したこともあり、ゆったりとした雰囲気での開催となったが、隣接する1/3会場での車の見本市と競合し、駐車場も車の展示場として使用されたため、駐車場不足等の理由により期待していた来場者数には至らなかった。(4,000人程度)

・ジオ芸能祭り、ジオパークシンポジウムの開催

ジオパークシンポジウムを海士町で開催した。今回は芸能祭りを盛り込んだことと、中四国近畿ブロックの担当者会議の場としてもシンポジウムを開催した。中四国近畿ブロックから20名や島後からの参加者も多数見受けられたが、残念ながら一般島民の参加者の増加にはつながらなかった。今後はテーマ、講演車も含めて一般参加者が増える仕掛けを検討したい。

- ・企業との連携

メンバー会員向けの雑誌に隠岐の情報を掲載しているが、具体的な効果測定が出来ていないため、メンバーの HP 上に旅行商品の紹介を行い、隠岐へのツアー参加者の数によって効果を測定したいと考えている。

- ・ジオ関連商品開発

認定商品制度、新商品開発助成、パッケージ等開発助成制度を構築して募集を行っている。問い合わせも多く、こうした助成制度を通じたジオパークの認知度向上につなげていきたい。

3. 調査研究事業

- ・調査研究計画書作成

調査研究計画書の作成にあたり、今年度については既存資料の収集・整理を行った。来年度は具体的な調査研究項目の設定と調査年次計画を策定する予定である。

また、再認定審査でも指摘の遭った、地質資源の新たな評価検証方法についても計画書に盛り込む予定である。

- ・特定植物等分布調査

クロシジミ、アオハナムグリの分布調査を行った。両方ともその分布範囲が狭まっており、今後の保護活動が必要となっている。

また、シロウマアサツキ、タケシマシシウドについての DNA 結果が得られた。

- ・研究活動助成事業、学術論文募集事業

今年度については研究活動助成事業 2 件、学術論文については 4 件の応募があり、3 件のジオパーク賞を選定した。研究事業についてはオキサシショウウオの新たな生息範囲の確認、マントルゼノリスの形成年代の確認など、これまでになかった成果を得ることができた。

ただ、学術論文については学部の卒業論文で取り組むことが多く、その内容についてレベルの向上を求めなければならない。

なお、3 月 12 日に開催した事業成果発表会には約 40 名の一般参加があり、感心が高まりつつあると感じた。今後は早めの周知など、一般参加者の増加に努めたい。

続けて、平成 28 年度決算見込（案）の説明。

■池田議長

質問有無の確認

■由木 順（山陰合同銀行西郷支店長）

平成 28 年度にジオ講座を 2 回実施していただき、ジオ検定を職員が受けたりしてジオに対する感心が高まった。大変良かったので、今年度もお願いしたい。

■野辺事務局長

了解した。

■斎藤一志（島後とぎの会）

姉妹提携について、香港と隠岐が姉妹提携することで何かメリットがあるのか。

■池田議長

質問について事務局回答依頼。

■野辺事務局長

香港も離島であり、ジオパークの機運が高まっており大手企業が寄付を始めている。

また観光についても参考になるところがある。

米子香港便に合わせて隠岐に足を運んでいただくようにしたい。

更に山陰海岸ジオパークも入れて提携していきたい。

■斎藤一志（島後とぎの会）

もう一つ、事業報告について、例えば環境省の事業については主催環境省として明記した方が良い。

更に、全国大会について、スケジュールは書いてあるが中身がどうなっているかが書いていない。全国大会の宣言についてくらいは報告したほうが良い。

■野辺事務局長

主催と共催については今後きちんと明記して作成する。

また、全国大会についても今後は大会宣言なり成果なりを報告書の中に盛り込みたい。

■池田議長

他に質問有無の確認。

■毛利彰（隠岐酒造）

認定商品制度について、県との兼ね合い、また隠岐酒造の商品は認定商品にはならないのか。

■野辺事務局長

認定制度は県と協議を行っている。二つ目にはついては水は隠岐のものだが米は...

最終的には審査委員会で認定の決定についてはかりたい。

■池田議長

他に質問有無の確認。

→無し

平成 28 年度事業報告、平成 28 年度決算についての承認を求める。

(承認)

続いて平成 29 年度事業計画、予算案について事務局に説明依頼。

■野辺事務局長

29 年度の報告の前に、八地域ジオパーク紹介本の紹介。

(資料 3)

事務局体制について

平成 29 年 4 月の人事異動により、海士町派遣職員（山斗）に代わり西ノ島町（澤野）が職員を派遣。

ユネスコ世界ジオパーク再認定審査の実施

平成 29 年 5 月～8 月の期間において、ユネスコ世界ジオパーク審査員チームによる現地審査（3 泊 4 日）が行われ、9 月に中国で開催される「第 5 回アジア太平洋地域ジオパークネットワーク会議」（開催場所：中国 識金洞世界地質公園）で結果が発表される予定。

ユネスコ世界ジオパーク再認定審査申請スケジュール

- ・文部科学省ユネスコ国内委員会へ再認定申請書の提出：平成 29 年 2 月 1 日（日本語・英語）
- ・文部科学省よりユネスコ世界ジオパーク事務局へ申請書の提出：平成 29 年 2 月 1 日
- ・再認定現地審査員決定（平成 29 年 3 月末）
- ・再認定現地審査日程調整（平成 29 年 4 月～）

第 5 回アジア太平洋地域ジオパークネットワーク会議への参加

開催日：平成 29 年 9 月 19 日（火）～9 月 23 日（土）

開催場所：識金洞世界地質公園（中国）

この会議において隠岐の再認定審査結果が発表されるため大会に参加する。また、日本の他ユネスコ認定地域とともに共同でブース出展を行う予定。

第 8 回日本ジオパークネットワーク全国大会への参加

開催日：平成 29 年 10 月 25 日（水）～10 月 27 日（金）

開催場所：男鹿半島・大潟ジオパーク（秋田県男鹿市、大潟村）

- ・分科会におけるコーディネーターを隠岐が担当（黒曜石について）
- ・各地のガイドとの交流

海外の他ジオパークとの交流

ユネスコ世界ジオパークへの貢献として、他ジオパークとの姉妹提携と具体的な交流事業の実施が求められるため、平成 28 年度に引き続き、香港ジオパークとの交流事業(ガイド交流または高校生の交流)を実施する。平成 28 年度は、平成 29 年 3 月 20 日～22 日の日程で香港の中学校 30 名が来島。

また、ジオパーク後進地域への支援事業として、ユネスコ世界ジオパークへの新規認定を目指しているポーランドのキェルツェジオパークへのノウハウ提供を行う。

部会運営事業

人材育成部会、企画広報部会、調査研究部会をそれぞれ年 3 回程度開催し、関係機関と一体となった取り組みの推進を図る。

人材育成事業

- ・学校および地域人材の育成:小中学校、高校への講師派遣と集会所、事業所単位でのジオ学習会を実施。
 - ・有償ガイド養成：ジオ検定の実施および、スキルアップ講座の開催。
 - ・島民への周知を目的としてジオパークサポーター養成講座を実施。
 - ・グローバルな人材育成を目的として英語キャンプ（中学生、高校生対象）を実施。

情報発信事業

- ・HP の機能追加（中国語版の作成）
- ・見どころマップ（中国語版）の作成
- ・バーチャルジオツアーシステムおよび音声ガイドシステムの機能追加（解説箇所の追加）

企画・広報宣伝事業

- ・長編映像の作成（コンピューターグラフィックを用いた映像作成：大地の成り立ち編）
- ・隠岐ユネスコ世界ジオパークフェスタの開催：松江市を中心とした誘客を目的として開催
開催日：平成 29 年 6 月 4 日（日）
開催場所：くにびきメッセ（松江市）
- ・隠岐ユネスコ世界ジオパークシンポジウムの開催
再認定記念シンポジウムとして隠岐の島町で開催
- ・ジオ関連商品開発への助成
ジオ菓子、ジオ旅行など、ジオパークに関連した商品の開発、販売に対して助成を行う。
- ・ジオパーク認定店の設置
飲食店、理髪店など、隠岐ジオパーク講座の受講店（者）に認定看板を設置。

調査研究事業

- ・調査研究計画書の策定。
- ・研究活動助成事業の実施：平成 28 年度に引き続き実施。
- ・研究論文募集事業：平成 28 年度に引き続き実施。

世界認定記念日事業について

- ・各地域、職場、小中学校での一斉ゴミ拾いの実施（今後調整の必要有り）
- ・海岸漂着ゴミ清掃イベントなどとの連携（地域活動との調整中）

続けて平成 29 年度収入支出予算（案）の説明

■池田議長

質問有無の確認

■村尾 秀康（隠岐の島町教育委員会教育長）

事例研究報告会について、満席で立ち見が出ていたので、席を増やして欲しかった。
また、他の事業と被っていたので出来ればずらしてほしかった。

■野辺事務局長

了解した。

■池田議長

他の質問確認

■毛利彰（隠岐酒造）

貴重な植物などの保全について伺いたい。

■野辺事務局長

それを含めて調査研究計画書の中できちんと示していきたい。その前に調査を進めていきたい。
もう一つ環境省が行っているオオキンケイギクの駆除作業などと連携して事業を進めていきたい。

■毛利彰（隠岐酒造）

もう一つ、ジオパークとして歴史文化の研究について伺いたい。

■野辺事務局長

自然環境だけでなく、歴史文化を背景とした隠岐を研究していきたい。それを調査研究計画書で進めていく。資料収集等は昨年から行っているので 29 年度も引き続き行いたい。

■池田議長

質問有無の確認

■吉田雅紀（島根県議会議員）

ジオパーク推進協議会としてあらゆる分野に努めているのはわかったが、これだけのことをやりなが

ら住民への浸透度が低いと感じる。もっと住民レベルからジオパークを浸透させて行ったほうが良いと思う。子どもへの教育だけでなく、大人へのジオパーク教育が必要だと感じる。

■野辺事務局長

隠岐の地域120全て回りたいと考えている。分館長会議に出向き、ジオ学習について声掛けを行っているところだが、なかなか結果に結びつかない。根気強く続けて浸透させていきたい。

■池田議長

他の質問の確認

■斎藤一志（島後とぎの会）

メディアで取り上げられた時に、間違いが報じられることが多い。

付いている観光協会の職員等がチェックしないといけないと感じる。

もう一つ、例年この総会で観光客数の推移発表があるが、今回は無い。その辺がどうなっているのか。

■野辺事務局長

雑誌の場合はチェックするが、新聞やテレビの場合は言われるとおりチェックが出来ていないので気をつけていきたい。

観光客数の推移については発表を忘れていた。日本人観光客は減り、外国人観光客数は増えている状況である。角橋局長と一緒に対策を練っていきたい。

■角橋隼人（隠岐島観光協会局長）

ここ数年6万前後で推移しているが、28年度については5,000人程度減少している状況である。

■池田議長

観光客数の推移については後日提示するということではよろしいか。

■野辺事務局長

後日提示する。

■斎藤一志（島後とぎの会）

もっと予算をつけてDMOを取り入れて行うべきだ。

■池田議長

そこまで範囲を広げるとジオというより観光の話し合いになってしまう。

■道前哲志（島根県隠岐支庁県民局長）

県としても宿泊数の担保など、協力して取り組んでいきたい。

■ 齋藤一志（島後とぎの会）

この件について質問したのも、推進協議会の仕事が観光に偏っていると感じているからである。
もっと県や観光協会の方で取り組んでいただきたい。

■ 道前哲志（島根県隠岐支庁県民局長）

もっと自分の専門の部署で処理して欲しい。推進協議会に偏っているのは自分も感じる。

■ 池田議長

他に質問の有無の確認

■ 古濱正之（島前森林組合）

昔いた動植物がいなくなった原因を調査することはないのか。

■ 野辺事務局長

今まで色んな分布調査を行っているので、もう少し整理が出来れば対策も進んでいけると思う。
もう少しお時間をいただければと思う。

■ 池田議長

他に質問の有無の確認

（無し）

平成 29 年度の事業計画、平成 29 年度の予算案について承認を求める。

（承認）

続いて規約の一部改正（案）について

■ 野辺事務局長

規約の一部改正について説明。

■ 池田議長

規定について承認を求める。

（承認）

■ 池田議長

報告事項：日本ジオパーク再認定審査結果について及び平成 29 年度ジオパークフェスタの開催について

■野辺事務局長

再認定通知正式文書（資料6－1）について、優良点と不良点について説明。
対応方針（資料6－2）にて指摘された点について改良策を説明。

平成29年度ジオパークフェスタの開催について

開催日：平成29年6月4日（日）

■池田議長

質問の有無の確認

■木下典久（隠岐汽船）

全体行動計画のジオパーク中核施設の整備について、中核施設は西郷港で決定であるか。

■野辺事務局長

西郷港既存フェリーターミナルの横に建設予定である。

■木下典久（隠岐汽船）

今の西郷の町中を考えた時に、観光客が受け入れられる体制ではない。その整備をしていかないと色々な誘致をしても効果が薄い、町中が盛り上がっていかないといけない。

今西郷港に中核施設を立てて施設が活きるかどうか、町の商店と一緒に進めていただきたい。

■野辺事務局長

住民の方も入れてワークショップをやりながら進めていきたい。

■池田議長

その他質問の有無の確認

（無し）

総会締